

# 第21回国労東日本マラソン大会

## 個人は鈴木選手(東京)がV2、駅伝は長野AチームがV4達成! 開催!



海口競技審判長

国労東日本本部は、11月12日に第21回マラソン大会を皇居外周で開催し、最年少は18歳から最年長77歳までの幅広い年齢層のランナーが激走を展開しました。

個人5キロマラソンは、鈴木選手(東京)が2年連続の優勝を果たし、14チームのエントリーで競われた駅伝レースでは、全区間で安定して上位をキープした長野Aチームが見事4連覇を達成しました。

今号は、①第21回マラソン大会、②各地方本部・地区本部業長、職協代表者会議、③各地方本部・地区本部組織部長会議、④2016年度年末手当、の報告とします。



前年度優勝チームによる選手宣誓



個人優勝 鈴木選手



女性1位 岡田選手

### 駅伝マラソン成績

1位	長野地本Aチーム	1時間18分22秒
(徳武雄一・小林将巳・傳田光弘・平林芳一・景井英一・柳原昭治)		
2位	国労高崎チーム	1時間20分47秒
(齋藤弦太・小野寺一雄・桧野皮謙・櫻井功・吉田博司・柳川将輝)		
3位	かながわAチーム	1時間22分51秒
(長谷川雄次・福谷忠昭・伊藤敏明・神田順二・田中勝次・鈴木博文)		

### 個人5km マラソン成績

1位	東京	鈴木 博文	蒲田駅	18分38秒
2位	千葉	名雪 勝男	習志野運輸区	19分43秒
3位	東京	戸嶋 茂樹	柏駅連合分会	21分17秒
4位	東京	金子 恒典	さいたま車掌区	21分33秒
5位	仙台	高橋 正人	車体分会	22分06秒
6位	東京	高橋 隆治	隅田川機関区OB	22分10秒
女性1位	長野	岡田 美穂	長野鉄道サービス	26分24秒

### 駅伝・区間賞

1区(5km)	国労高崎チーム	齋藤 弦太	16分29秒
2区(2.5km)	長野地本Aチーム	小林 将巳	9分5秒
3区(2.5km)	長野地本Aチーム	傳田 光弘	10分31秒
4区(2.5km)	長野地本Aチーム	平林 芳一	9分1秒
5区(2.5km)	新潟マラソンクラブチーム	坂井健太郎	10分39秒
6区(5km)	かながわAチーム	鈴木 博文	18分47秒



駅伝優勝 長野Aチーム

今大会も、東京走友会・NRUハムクラブ・東京地本のご協力が無事終了しました。紙面を借りてお礼を申し上げます。  
※詳細な記録については、ホームページにて掲載しています。



(組合員の購読料は組合費に含まれます)

港区新橋5-15-5  
交通ビル  
国労東日本本部  
発行責任者 菊池忠志  
編集責任者 樋口孝重

No. 786 定価 20円

2016年

11月28日

つなげよう  
技術(わざ)と魂(こころ)と  
運動を

QRコードからでも閲覧できます

<http://www.e-nru.com/>



# 10月27日 各地方本部 地区本部 業長 職協代表者 会議開催!



10月27日、東京地本会議室で各地方本部・地区本部業務部長、職協代表者会議を開催しました。会議は宮崎副委員長の開会挨拶で始まり、佐藤書記長から、一点目に2016年度年末手当獲得に向けた闘いについて「基準内賃金の3.5ヶ月を基本とし、支払い日は12月2日までを要求として、10月21日に申し入れた。年末手当獲得を秋季年末闘争の柱として、職場集会や地方独自の創意工夫した取り組みを行い、本社交渉を押し上げる。グループ会社に対する申し入れは、中間決算等に基づき調整する」と提起しました。

二点目は、組織強化・拡大の取り組みとして、国労復帰・加入の状況や今後の取り組み課題など、一年間の行動計画、関連労働者の組織化について提起し、各地方・地区本部の特徴点について議論されました。

三点目は、労働条件改善・「労働条件に関する協約」改訂、安全・安定輸送の確立に向けて、とりわけ「労働協約」改訂については、和解時に求めた懸案事項の解決促進を求めると、安全・安定輸送確立では、この間進めてきた施策の検証を引き続き行うことなどを提起しました。

「出向者等の保存休暇の取り扱いについて改訂を求め」「民間アパート間の引越し手当を改善して欲しい」という意見が出され、職協からは「申の交渉日程を早急に示して欲しい」「有害物質の交渉について、特殊健康診断が行われていない」「アスベスト健康手帳について申を立てて交渉して欲しい」「退職者が多く要員が足りない、申を早めに立てて交渉をするべき」「エルダーも行き先がない、現場に残すべき」といった意見がありました。

最後に佐藤書記長より「未交渉の『申』については、精査と整理をはかり早急に取り組み努力をする。『労働契約法20条』『有害な化学物質』については日程調整している。職協の問題については改善に向けて進めていく」と答弁がされ、確認されました。

# 各地方・地区本部 組織部長会議 11月6日 開催!

情勢認識を一致させ  
分会運動の活性化を!



11月6日に、今後1年間の組織強化・拡大の意思統一の場として、各地方本部・地区本部組織部長会議を開催しました。

会議は伊藤業務部長の開会挨拶で始まり、菊池委員長から最近の情勢等にふれた後「組織拡大に向けて全体で意思統一して欲しい。組対費の継続の扱いは機関会議での議論を経てとされた。年末手当の要求については、国労は3.5ヶ月を要求している。労組法20条の件では申を提出した。11月2日には長澤運輸事件で高裁判決が出された。12月から3月にかけて本

2016年度年末手当については、10月21日の要求提出以降、11月4日に第1回交渉、11月8日に第2回交渉が開催され、11月17日に開催された第3回交渉の中でJR東日本より、基準内賃金×3.18箇月という回答が示されました。

国労としては、連結・単体ともに5期連続の増収、第2四半期決算では過去最高となった中間決算や、この間の相次ぐ事

部全国キャラバンが提起され、3月1日に中央総決起集会が開催される」と挨拶がありました。

その後、武田組織部長が、①組織拡大の現状について、②一括和解以降の状況変化について、③今後の取り組み課題についてなどを提起しました。

各地方・地区本部からは「青年部を中心に、組織対策プロジェクトチームを立ち上げて、新採などの情勢分析から組織拡大に具体的な取り組みを継続している」「フレッシュマンセミナーを開催。青年労働者に労働者としての考え方を養う学習と交

故に対する復旧や、安全・安定輸送を支え、信頼の回復に向け奮闘する社員モチベーションを考え、時に不満の残る結果であり、私たちの求めた要求とかけ離れていることから再考を求め、持ち帰り検討としました。

今回の回答は、不満の残る結果となりましたが、組合員・家族の生活設計を考慮し、11月18日については妥結・整理を行う

この間の、各機関から東日本本部に寄せられた多くの激励に感謝するとともに、引き続き秋季年末の闘いなどを通じて、賃金並びに労働条件の改善を強く求めていく決意です。

# 2016年度年末手当 基準内賃金× 3.18箇月を因る

妥結・整理

2016年度年末手当については、10月21日の要求提出以降、11月4日に第1回交渉、11月8日に第2回交渉が開催され、11月17日に開催された第3回交渉の中でJR東日本より、基準内賃金×3.18箇月という回答が示されました。

国労としては、連結・単体ともに5期連続の増収、第2四半期決算では過去最高となった中間決算や、この間の相次ぐ事

この間の、各機関から東日本本部に寄せられた多くの激励に感謝するとともに、引き続き秋季年末の闘いなどを通じて、賃金並びに労働条件の改善を強く求めていく決意です。

**アフラック**  
最新のがん保険、  
**新登場。**

通院・入院・抗がん剤・診断一時金  
NEW/  
**新**生きるための  
**がん保険** Days

女性特有のがんにも  
手厚い  
NEW/  
**新**生きるための  
**がん保険** Days

はじめてダック

■募集代理店(アフラックは代理店制度を採用しております) ◎商品の詳細は「契約概要」等をご覧ください。(引受保険会社)

**アベニール株式会社**  
TEL 03-3437-6810 FAX 03-3437-6822  
〒105-0004 港区新橋5-15-5 交通ビル3F

AF広宣課-2014-0044-1412506 8月25日